



平成 31 年

3月号

保育所だより



社会福祉法人平田保育会

みなみ保育所

62-2374

090-5700-9459



ぞう組さん ご修了おめでとうございました



柔らかな春の日差しをうけて保育所のカワツ桜が満開です。

玄関では、飾った七段飾りのお雛様をじっと見つめて「かわいいね」「刀があるよ」など、子ども達の微笑ましいつぶやきが聞こえてきます。

今年度も今月を残すのみとなりました。子ども達はこの一年、様々な経験を通して心身ともに成長しました。

この時期、年長児は昼寝の時間に各保育室に分かれ、手伝いをしています。布団で横になっている子どもは、心待ちにしており、優しくさすってもらうちに、眠りへと誘われていきます。お互いが静かな雰囲気の中で心地良さを感じている様に思えます。

年長児から年下の子へと、自分にしてもらった嬉しい経験が、自然に受け継がれていることを感じます。

今月は、大きくなったことを喜び、入学や進級が楽しみにできるような締めくくりの月となるようにしたいと思っています。また、戸外や散歩に出かけて、風や日差しの暖かさに気づいたり草花の芽を見つけたりして、春の訪れが感じられるようにします。

最後になりましたが保護者の皆様をはじめ、地域の皆様にたくさんのご支援、ご協力をいただきましたことに対し、職員一同心より感謝申し上げます。ありがとうございました。



○保育目標 ～ 入学・進級に向けて期待を持とう

1年間の思い出を振り返り楽しかったことやできるようになったことを一緒に喜びます。ぞう組の子ども達とは、小学校での生活について話をし、期待が膨らむようにします。また、継続児は、1つ大きいクラスになるという期待につながるよう、進級する保育室で遊んだり給食を食べたりします。

○生活目標 ～ 身の回りのことをすすんでしよう

着替えや片付け、ロッカーの整理をすることなど、年齢に応じた身の回りのことができるようにします。自分でしようとする姿を褒め、できないところはさりげなく手伝ったり保育士と一緒にしたりして身につくようにしたいと思います。

ほっとルーム

「自分を好きになれる子どもに育てる」

(前略) 子どもというのは、人から好きになってもらって、はじめて自分のことを好きになれるのです。お母さん、お父さん、おじいちゃん、おばあちゃん、保育園や幼稚園の先生、学校の先生、友達など、いろいろな人が自分のことを好きになってくれた、そういうことを自分のなかにたくさん取りこんで、発達、成長していくのです。(中略) もって生まれた個性、能力、資質、素質、あるいはそういった種類のものは、基本的にはなかなか変えることはできませんから、自分が好きという感情を育ててあげることがとても大切なことです。何かがよくできる子にしてあげると、子どもは自分のことを好きになれるかというと、そうではありません。どんなにいろいろなことがよくできるようになっても、その子を心から好きになってあげる人がいないと、子どもは自分のことを好きになれません。ここがとても重要なところです。

参考文献「子どもへのまなざし 完」児童精神科医 佐々木正美著
「〇〇できたら」「〇〇したら」ではなく、条件なしで、無条件で、「好き」という気持ちを言葉や表情・態度で伝えていくことが、子どもを支えるエネルギーとなっていくと思います。

エネルギーを使って子どもは楽しいこと、つらいことに向かっていきます。エネルギーの補給をして満タンにしていきたいと思います。

お昼寝の様子



お知らせ・お願い



○集金について(7日)

年度末の為、日にちを早め、新年度用品代も併せて集金させていただきます。

○平成30年度修了式について(25日)

修了児とその保護者様、きりん組の子ども達、職員が出席して行います。なお、22日(金)は準備のため、ぞう組は給食を食べて12時30分の降所とさせていただきますのでよろしくお願いします。

○年度末の保育について(28日・29日)

28日と29日は希望保育とさせていただきます。新年度の準備をしますので、お忙しいとは存じますがご協力くださいますよう、よろしくお願いいたします。(詳しくは後日お知らせいたします。)

○持ち物について

身の回りの物をすべて持ち帰りますので、記名や布団の綴じつけ、のりの補充などの点検をしていただき、4月1日に持ち出してください。7日にお渡しします新年度用品も記名をして一緒にお持ち出しください。

職員出張のお知らせ

※印は午後の研修

2日	※島根県スポーツ指導者研修会	梶谷
4日	※しまね有機農業交流会	甲斐
4~6日	キャリアアップ研修(保健衛生・安全)	岩成
7~9日	応急手当普及員講習	森山

*ご寄贈ありがとうございました

古布 ~ 保護者様